

Acrylic® NB アクリコ® NB

アクリル系下地処理材 乾くと透明色

アクリコ® NBは壁面と天井等の取り合いや壁面の隙間に刷毛塗りでできる商品です。



用途

- 壁面と天井の取り合い部の下地処理
- 巾木や内装下地の隙間
- 塗り分け等の塗装下地処理

特徴

- 作業性に優れた水性タイプ
- 上塗り塗料へのにじみ出し（ブリード）がほとんど発生しない
- 低粘度タイプで刷毛塗りできる

仕様

容量：3kg入り×2缶／ケース

色

色：乾くと透明

使用上の注意

- 降雨、降雪時の施工は避けて下さい。
- 施工は、環境温度 5℃～40℃で行って下さい。
- 下地が濡れている場合は施工を避けて、十分に乾燥していることを確認の上施工して下さい。
- 被着面の油、ゴミなどの清掃には、布等できれいに清掃して下さい。
- 水分・湿分が多い環境では白濁する場合があります。
- 塗着料が多いと透明になるまで時間がかかる場合があります。
- 屋内冷暗所に保管し、凍結は避けて下さい。
- 保管の際は蓋をしっかりと閉じて下さい。
- その他詳しくはSDSをご覧ください。

LCL工法 施工手順 チリ際塗装養生「リキッドクリアライン工法」 特許取得工法 特許第6588493号

1 施工前の事前確認

- (1) 下地乾燥状態の確認
- 前日が雨や雪の場合は、施工部分表面が濡れているため、施工は避けてください。
 - 【注意】 施工部の表面が十分乾燥していない状態で施工すると剥離につながりますので絶対に行わないでください。
- (2) 天候の確認
- 晴天・曇天の日に行ってください。
 - タックフリーになる前に降雨があると、発泡や施工した材料が滲んだり、材料が流される恐れがあります。
- (3) 気温・湿度の確認
- 原則として気温5℃～35℃、湿度85%以下の条件で施工してください。
 - 被着面が凍結、結露している場合は、ドライヤーで乾燥させてください。

2 施工部の清掃

- 水滴が施工部表面に付着している場合は、完全に乾くまで施工を行わないでください。
- 旧塗膜など脆弱な部分はダスター刷毛やスクレイパーなどで綺麗に清掃してください。

3 養生材の貼り付け

- 非塗装部への塗材のみ出しを、より防止するために施工部の形状に沿って養生材をしっかりと貼り付けてください。
- 養生材の選定は、粘着剤によって被着体が汚れないものをお使いください。

4 アクリコNBの施工



①養生材を貼り付ける。 ②刷毛の毛先を利用して養生材に含ませる。 ③浮き部分にアクリコ®NBをかぶせる。

5 施工部への塗装

- 塗材メーカーの仕様通りに塗装してください。
- アクリコ®NBは硬化前の白色から透明になったタイミングが塗装の目安です。
- 施工する部位によっては、艶感が目立ってしまう場合がありますので事前にご確認ください。

6 養生材の除去



【注意】 養生材を除去する際、塗布厚のつき過ぎにより、上塗り塗膜ごと引っ張られる場合は塗装箇所と非塗装箇所の境目にカッターを入れ、切りながら養生材を剥がしてください。

7 仕上げチェック

- 綺麗な直線が出ているか、チェックしてください。
- テープ裏面に潜り込んだアクリコ®NBは白濁している場合がありますが、時間の経過と共に透明に変わります。
- アクリコ®NBは硬化前の白色から透明になったタイミングが塗装の目安です。
- 【注意】 アクリコ®NBに塗装を施した場合、艶が生じます。施工する部位によっては、艶感が目立ってしまう場合がありますので事前にご確認ください。

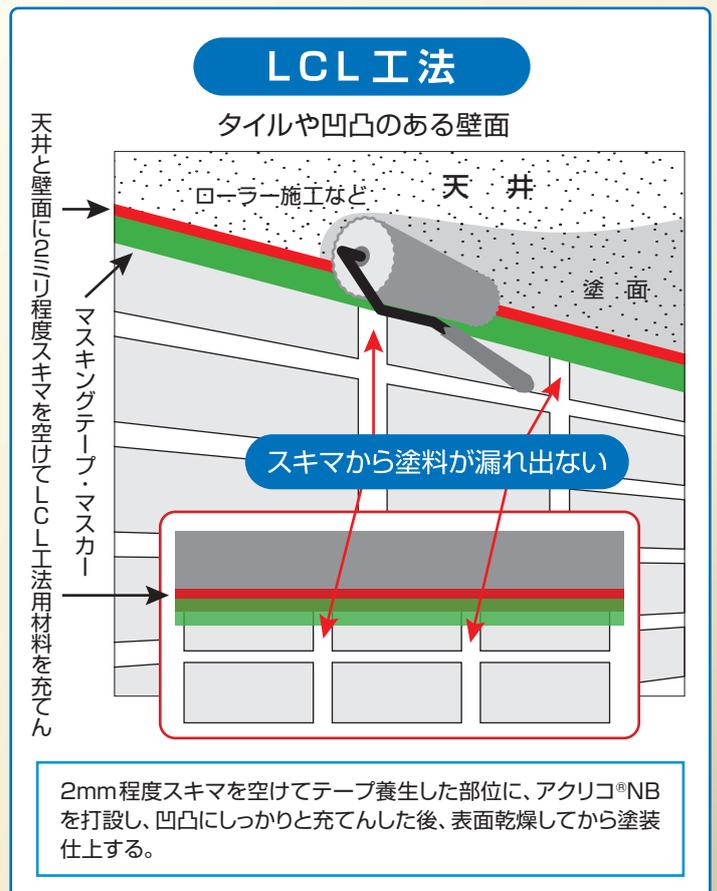
8 清掃

- 施工後の容器、ヘラ、刷毛、剥がした後の養生材は自治体等の指定された場所に適切に処分してください。

塗装に関する注意

- 塗料によっては塗膜がベタつくことや割れ生じることがありますので事前にご確認ください。

クリア液状(不定形)材によるチリ際養生により、凹凸のある仕上げ部分との取り合いでクリア(明瞭)なライン出しを、効率よく作業することが可能となります。



●アクリコ®NBのご用命・ご相談は……



シャープ化学工業株式会社
SHARP CHEMICAL IND. CO., LTD.
<https://www.sharppchem.co.jp/>

■大阪本社
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町12番1
■東京営業所
〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目26番9号
■札幌出張所
〒003-0824 札幌市白石区菊水元町四条1丁目2-1

お問い合わせはこちらから▶

